

令和8年  
2026年

4月2日  
木曜日

第11922号

# 食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日  
第三種郵便物認可

購読料（前納）  
年間 82,080円  
（税込み）  
6カ月 42,120円  
（税込み）

本紙は関連企業・団体との  
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社  
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社  
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10  
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社  
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48  
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局  
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12  
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



ニッポンハムグループ入社式が開催された……P4～5

CONTENTS

- ▶ 2月末全国牛飼養頭数計367万頭で減少一身体識別記録…………… P2
- ▶ 全国規模の受胎率R6年調査、肉用種人工授精は57%—AIAJ…………… P2
- ▶ [加工品仕向肉量・2月] 国産、輸入合計数量は3万245 tで2・0%増…………… P3
- ▶ [都内輸入食肉在庫・2月] 牛肉在庫量は約1割増…………… P3
- ▶ ニッポンハムグループ入社式、前田社長「失敗恐れず、挑戦し続けることを期待」…… P4～5
- ▶ タイにおける食肉加熱処理施設159番の名称変更…………… P5
- ▶ [人事異動] 前川製作所（3月23日付）…… P5
- ▶ [人事異動] ALIC（4月1日付）…………… P5
- ▶ 伊藤ハム米久HDが東京ビッグサイトで入社式を挙行…………… P6
- ▶ 米久、「味付け牛肉」シリーズ2種類を発売…………… P6
- ▶ プリマハム入社式、阿部社長「若い感性や新しいアイデアを存分に生かして」…………… P7
- ▶ 米国で鳥フル、家禽肉等の輸入一時停止…… P7
- ▶ 丸大食品が100人の新入社員を迎え入社式を挙行…………… P8
- ▶ スターゼンG入社式、横田社長「チームで動き成果を上げていく集団に」…………… P8～9
- ▶ [人事異動] オサベフーズ（4月1日付） P9
- ▶ 米国で鳥フル、家禽肉等の輸入一時停止…… P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数] 1日…… P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場] 1日…… P11

## 注目のヘッドライン

### 2月末全国牛飼養頭数計 367万頭で減少一身体識別記録

家畜改良センターが発表した2026年2月末の全国牛個体識別記録によると、全国の飼養頭数は367万3157頭（前年同月比3・1%減）と減り、前月比でも8073頭減少した。

…詳細はP2

### [加工品仕向肉量・2月] 国産、輸入合計数量は3万245 tで2・0%増

…詳細はP3

株式会社 食肉通信社

## 牛枝肉・牛部分肉の見方

### 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について、分かりやすくまとめた入門書。バイヤーとして精通するための「鑑識眼」を養うことができ、業界未経験者にも理解しやすい内容となっています。

B5判 / 90頁 / 定価3,000円

大きな  
カラー写真で  
丁寧に解説



## 2月末全国牛飼養頭数計367万頭で減少—個体識別記録

家畜改良センターが発表した2026年2月末の全国牛個体識別記録によると、全国の飼養頭数は367万3157頭(前年同月比3・1%減)と減り、前月比でも8073頭減少した。

品種別にみると、黒毛和種は計164万3734頭(5・0%減)と前年を下回り、前月比でも5377頭減少した。雄(去勢)は59万7185頭(4・6%減)、雌は104万6549頭(5・3%減)となった。また、交雑種は計53

万1755頭(2・8%減)と前年を下回り、前月に比べて644頭増。雄は27万2311頭(3・1%減)、雌は25万9444頭(2・4%減)となった。ホルスタイン種は計144万2785頭(1・1%減)となり、前月からも3442頭減。雄は16万6580頭(4・7%減)と減少が続き、雌も127万6205頭(0・6%減)で前年割れとなった。また、褐毛和種は計2万1977頭(0・4%減)、肉専用種は計4942頭(3・2%減)で減少となった。

全国の牛の種別・性別の飼養頭数(各月末時点)

年月	ホルスタイン種			交雑種(肉専用種×乳用種)			黒毛和種			褐毛和種			日本短角種	肉専用種	その他	総計
	雄	雌	計	雄	雌	計	雄	雌	計	雄	雌	計				
令和7年5月	169,727	1,279,602	1,449,329	274,068	260,160	534,228	622,397	1,093,005	1,715,402	6,783	15,452	22,235	5,465	5,081	16	3,754,157
6月	167,857	1,280,603	1,448,460	271,043	257,073	528,116	621,278	1,089,531	1,710,809	6,685	15,469	22,154	6,062	5,083	16	3,743,145
7月	167,646	1,280,849	1,448,495	268,791	255,385	524,176	614,530	1,080,378	1,694,908	6,563	15,387	21,950	5,943	5,136	16	3,723,200
8月	168,266	1,281,219	1,449,485	269,321	255,752	525,073	618,592	1,081,282	1,699,874	6,623	15,325	21,948	5,939	5,124	16	3,730,135
9月	168,692	1,280,264	1,448,956	270,528	256,990	527,518	617,324	1,077,302	1,694,626	6,630	15,395	22,025	5,804	5,086	15	3,726,763
10月	169,770	1,277,400	1,447,170	270,472	257,507	527,979	613,185	1,071,089	1,684,274	6,598	15,362	21,960	5,602	5,048	15	3,714,746
11月	170,113	1,276,411	1,446,524	270,386	257,166	527,552	601,522	1,058,152	1,659,674	6,546	15,329	21,875	5,527	5,030	15	3,688,835
12月	169,465	1,277,934	1,447,399	270,079	257,590	527,669	598,953	1,053,416	1,652,369	6,489	15,269	21,758	5,489	4,979	15	3,682,181
令和8年1月	168,737	1,277,490	1,446,227	271,887	259,224	531,111	598,486	1,050,625	1,649,111	6,544	15,280	21,824	5,380	4,958	15	3,681,230
2月	166,580	1,276,205	1,442,785	272,311	259,444	531,755	597,185	1,046,549	1,643,734	6,628	15,349	21,977	5,335	4,942	15	3,673,157
前年比	95.3%	99.4%	98.9%	96.9%	97.6%	97.2%	95.4%	94.7%	95.0%	99.9%	99.4%	99.6%	95.6%	96.8%	93.8%	96.9%

※総計には、ジャージー、乳用種、無角和種、黒毛和種×褐毛和種、和種間交雑種を含む

## 全国規模の受胎率 R6 年調査、肉用種人工授精は 57%—AIAJ

一般社日本家畜人工授精師協会(AIAJ)は3月31日、全国規模で実施している受胎率調査の令和6年次(速報値)と令和5年次(確定値)のデータを公表した。この受胎率調査事業は、全国規模の公的数値となる牛の受胎率データが過去10年来存在していなかったことを踏まえ、公益社全国競馬・畜産振興会の助成を受け、日本家畜人工授精師協会が5年度から開始したもの。全国の家畜人工授精技術者らの理解の下、都道府県受精師協会および県畜産主務課などの協力を得て、各年次に実施した人工授精、受精卵移植の受胎率データを収集して取りまとめ、年度末に公表している。

調査結果によると、6年(速報値)における肉用種の人工授精の受胎率は57・0%

(前年比4・0ポイント増)、体内受精卵移植は47・6%(1・4ポイント増)、体外受精卵移植は41・7%(2・1ポイント増)となった。

【受胎率データ】

人工授精	雌の品種	精液の品種	令和6年次(速報値)		令和5年次(確定値)	
			延頭数	受胎率	延頭数	受胎率
	乳用種	乳用種(通常)	肉用種	294,619	49.6%	344,756
196,013				47.2%	191,281	46.7%
肉用種		肉用種	227,456	50.9%	262,724	49.5%
			162,590	57.0%	332,145	53.0%

受精卵移植	雌の品種	受精卵の品種	令和6年次(速報値)		令和5年次(確定値)	
			延頭数	受胎率	延頭数	受胎率
	体内	乳用種	肉用種	2,964	46.9%	3,514
29,316				47.9%	43,744	48.9%
肉用種		肉用種	12,654	47.6%	18,283	46.2%

受精卵移植	雌の品種	受精卵の品種	令和6年次(速報値)		令和5年次(確定値)	
			延頭数	受胎率	延頭数	受胎率
	体外	乳用種	肉用種	4,248	38.3%	2,395
17,167				44.8%	21,162	39.5%
肉用種		肉用種	1,996	41.7%	2,420	39.6%

## 【加工品仕向肉量・2月】国産、輸入合計数量は3万245 tで2・0%増

日本ハム・ソーセージ工業協同組合がまとめた2月の加工品仕向肉量によると、国産と輸入を合わせた合計数量は3万245 t(前年同月比2・0%増)となった。

このうち国内物が8291 t(3・0%減)となり、輸入物は2万1954 t(4・1%増)と増加している。

畜種別にみると、豚肉は国内物が5159 t(0・3%減)、輸入物は2万235 t(3・2%増)、合計2万5395 t(2・4%増)で前年を上回った。

また、鶏肉は国内物が3037 t(7・0%減)、輸入物は942 t(32・2%増)と増加、合計では3980 tで前年並みとなった。成牛肉は848 t(0・6%増)で、国内物が92 t(6・5%減)、輸入物が757 t(1・5%増)となった。

シーズンドポークなどを含む豚肉調製品は8493 t(0・1%増)となっている。

2026年2月分の食肉加工品仕向肉量

(単位:トン、%)

区分	仕向肉量	対前年同月比	2026年累計	対前年同期比	
豚肉	国内物	5,159.4	99.7	10,468.0	100.8
	輸入物	20,235.1	103.2	41,332.9	102.1
	合計	25,394.5	102.4	51,800.9	101.9
成牛肉	国内物	91.8	93.5	192.5	87.5
	輸入物	756.5	101.5	1,767.8	104.7
	合計	848.3	100.6	1,960.3	102.7
子牛肉	国内物	0.0	0.0	0.3	0.0
	輸入物	0.5	83.3	1.1	100.0
	合計	0.5	83.3	1.4	127.3
馬肉	国内物	2.0	50.0	5.4	73.0
	輸入物	4.7	65.3	9.0	69.2
	合計	6.7	59.8	14.4	70.6
細羊肉	国内物	0.4	0.0	0.4	0.0
	輸入物	14.5	89.5	32.5	95.3
	合計	14.9	92.0	32.9	96.5
山羊肉	国内物	0.0	0.0	0.0	0.0
	輸入物	0.2	40.0	0.5	100.0
	合計	0.2	40.0	0.5	100.0
鶏肉	国内物	3,037.3	93.0	6,110.0	92.3
	輸入物	942.2	132.2	2,038.2	138.9
	合計	3,979.5	100.0	8,148.2	100.7
合計	国内物	8,290.9	97.0	16,776.6	97.3
	輸入物	21,953.7	104.1	45,182.0	103.5
	合計	30,244.6	102.0	61,958.6	101.7
うさぎ肉	国内物	0.0	0.0	0.0	0.0
	輸入物	0.0	0.0	0.0	0.0
	合計	0.0	0.0	0.0	0.0
魚肉	国内物	1.0	100.0	2.1	91.3
	輸入物	9.8	91.6	21.5	100.9
	合計	10.8	92.3	23.6	100.0
【参考】					
豚肉調製品	8,492.9	100.1	16,980.9	97.6	
うちシーズンドポーク	8,487.3	100.1	16,967.4	97.6	

注)仕向肉量は食肉加工工場より報告された数量である。

資料:日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べ「食肉加工品等流通調査」(公益社団法人日本食肉協議会委託事業)

## 【都内輸入食肉在庫・2月】牛肉在庫量は約1割増

東京冷蔵倉庫協会が公表した2月の都内食肉在庫によると、牛肉は入庫が1万3013 t、出庫が1万4352 t、在庫が5万7077 tとなった。前年同月比では9・9%増となり、前月を下回った。

豚肉は入庫が3万3199 t、出庫が3万6885 tで在庫が9万4666 tとなった。前年同月比では5・5%減となり、前月を下回った。

一方、鶏肉は入庫が1万6139 t、出庫が1万4670 t、在庫が3万6840 tとなった。前年同月比では32・2%減となり、前月を下回った。

シーズンドポークなどを

含むその他畜産・畜産加工品は、入庫が5312 t、出庫が5194 tで在庫が1万2404 tとなった。前年同月比では5・6%減となり、前月を下回った。

東京都の輸入食肉月末在庫(保税在庫)

単位:トン、%

	牛肉	豚肉	鶏肉	羊肉	馬肉	その他畜産物
令和7年1月	52,496	99,162	55,020	1,075	1,118	13,690
2月	51,918	100,155	54,348	1,087	1,202	13,136
3月	53,673	99,231	48,832	1,217	1,133	12,669
4月	52,205	97,559	45,138	1,257	1,016	12,105
5月	55,206	109,231	45,349	1,667	1,080	12,856
6月	56,037	112,879	45,549	1,683	1,113	12,583
7月	56,373	113,902	42,796	1,568	1,136	12,524
8月	59,887	113,896	43,743	1,511	1,088	13,154
9月	56,789	112,054	43,678	1,397	1,034	13,563
10月	59,086	109,844	42,323	1,316	1,059	13,871
11月	57,812	104,107	39,124	1,219	1,110	12,876
12月	56,770	92,278	34,907	1,084	1,058	11,673
令和8年1月	58,416	98,352	35,371	1,219	1,008	12,286
令和8年2月入庫	13,013	33,199	16,139	699	310	5,312
出庫	14,352	36,885	14,670	690	252	5,194
在庫	57,077	94,666	36,840	1,288	1,066	12,404
前年同月比	109.9%	94.5%	67.8%	118.5%	88.7%	94.4%

## ニッポンハムグループ入社式 前田社長「失敗恐れず、挑戦し続けることを期待」

ニッポンハムグループは1日、東京都内で2026年ニッポンハムグループ入社式を執り行った。同社では今年度、グループ全体で380人(うち、日本ハム51人)の新入社員を迎えた。入社式では新入社員と列席者によるNI(ニッポンハムグループの行動指針)唱和が行われ、前田文男社長(上左写真)が訓示。前田社長の訓示の要旨は次の通り。



ニッポンハムグループへの入社、誠にありがとう。本年は380人の新しい仲間を迎えた。学生から社会人になることは、肩書が変わるだけでなく、責任感や心構えを大きく変えること。これからは一人ひとりの活躍が企業の業績に影響を与える。ニッポンハムグループは「食」という人々の生命と生活の基盤を支えるインフラを担っており、皆さんの仕事の積み重ねが、「安心・安全・安定しておいしい商品をお届けする」ことにつながる。各社の代表である自覚を持ち、責任感を持って仕事に取り組んでほしい。

ニッポンハムグループは1942年に創業し、ハム・ソーセージの製造から事業を広げ、現在では国内外15の国と地域に展開している。企業理念である「食べる喜び」を通じた社会貢献の下、北海道日本ハムファイターズやエスコンフィールド北海道など、スポーツを通じた新たな感動を事業としてお届けしている。創業以来続いてきた成長の原動力は、「おいしさと安全・安心をお届けする」という精神を守りながら、時代の変化に合わせて挑戦を続けてきたことにある。2042年の100周年に向け、皆さんにもこの歴史の上に新たな1ページを作ってほしいと思う。

一方で、世界的な人口増加や気候変動、国際情勢の不透明さ、国内における少子高齢化やライフスタイルの変化など、事業環境は大きく変化している。柔軟に先見力を持って、挑戦を続けていただきたい。目指すべき方向性として、「たんぱく質クライシス」と呼ばれる課題も見据え、当社グループは代替たんぱく質や細胞性食品の開発などを進めている。また、たんぱく質を安定供給するだけでなく、たんぱく質の新



しい価値を医療用素材などへ生かし、社会と共にとたんぱく質の価値を創る企業へ取り組んでいく必要がある。

その実現に向け、私はシャウエッセンや食のインフラを支える食肉事業やスポーツ・エンタメ事業など「唯一無二の強み」を生かし、次のステージを見据えた「攻めの経営」を進め、「攻めの成長戦略」「攻めの構造改革」、そして働き甲斐を高める「風土改革」に注力していきたいと思う。一人ひとりが主体性を発揮し、多様な個性や価値観を掛け合わせることでよりグループの力になってほしいと考えている。

新入社員の皆さんに期待するのは、失敗を恐れず「挑戦すること」。失敗を恐れて挑戦しないことこそ最大の失敗だ。失敗から学び、大きく成長するためにも、挑戦を続けていただきたい。私は今期、「やろうと思えばできないことはない。全員で挑戦しよう!」というスローガンを掲げている。どんな時にも前向きに挑戦を続け、笑顔を決やさず成果につなげるようみんなで努力し、各グループの力となるよう挑戦していただきたい。

その後、列席者と新入社員が紹介され、前田社長

が、新入社員を代表して登壇した日本ハムの安達元太さんにグループ章を授与。さらにジャパンフード(株)の柴小叡さんが新入社員代表宣誓を行った。

また、今回は第2部として、新入社員と日本ハム役員、グループ各社社長との交流の場が設けられた。会場では北海道日本ハムファイターズの新庄剛志監督による激励のビデオメッセージも放映。参加者全員で同社のメインブランドである「シャウエッセン」を手に、乾杯ならぬ「乾パリッ!!」が行われた。井川伸久会長(左頁上写真右)による新入社員の今後の活躍、さらにファイターズの優勝を祈念し、今シーズンのスローガンである「DOMIれ!」ポーズを合図に参加者が順番にシャウエッセンをかじると、代名詞である「パリッ!!」とした音が会場中に響きわたり、そのようすはドローンに搭載されたカメラでスクリーンに映し出された。その後は、グループの製品を味わいつつ、サイコロを振って出た数字によってテーマが決まるサイコロトークとなり、「入社した理由」「初任給の使い方」「ストレス解消法」などについて、役員と新

入社員がそれぞれ回答。和やかな雰囲気の中で交流を深めた。

新入社員を代表して式後に取材に応じた日本ハムの児見山舞香さんは「昨日までは学生であり、今日からいきなり社会人に成り切れるのか不安もあったが、無事入社式を終え、前田社長の訓示をきき、ニッポンハムグループの一員になった実感が湧いてきた。また、第2部では上司の方とも近い距離で話すことができ、風通しの良さも感じるとともに、乾パリッ!!ではユーモアある社風も感じた。事業の幅広さや規模の大きさ、人々に与える影響力など、やりがいある仕事ができるのではと期待を抱いている」と今後の活躍を誓った。また、人事部の中里美穂リーダーは今回第2部の交流イベントを開催した狙いについて「新入社員に入社実感と一体感を持っていただくことが目的であり、双方向のコミュニケーションを取れることを重視した。また、代表的製品であるシャウエッセンなどの自社製品を含め、グループのことをより知っていただく機会とした」と説明した。

## タイにおける食肉加熱処理施設 159 番の名称変更

農水省動物検疫所は1日、タイ家畜衛生当局から同日付で、次の日本向け加熱処理偶蹄類肉等および家禽肉等の輸出施設の名称変更を希望する通知を

受けたと発表した。施設番号159、変更後の施設名称=CPF NH FOODS COMPANY LIMITED (旧=CPF Food and Beverage Company Limited)

## 【人事異動】前川製作所(3月23日付)

(株)前川製作所は3月に開催した取締役会で、役員人事を次の通り決定した。

〈選任〉監査役(内部監査室) 渡邊達夫、〈退任〉(監査役) 高橋繁▷(執行役員) 大喜多昭夫

## 【人事異動】ALIC(4月1日付)

畜産経営対策部および畜産振興部の所掌する業務の担当理事を補佐し、その担当理事の所掌事務を総括調整(総括調整役兼調査情報部長) 金子幸司▷調査情報部長(特産調整部長) 唐澤哲也▷特産調整部長(特産調整部輸入調整第一課長) 緒方芳明▷総務部総務広報課長(野菜振興部契約取引推進課長) 太田昭二▷企画調整部企画評価課長(総

務部総務広報課長) 井上裕之▷畜産振興部部付兼公益(社)法人中央畜産会出向(畜産振興部管理課長) 小林奈穂美▷畜産振興部管理課長(企画調整部企画評価課長) 新田京子▷畜産振興部畜産流通課長(総務部上席調査役兼畜産振興部併任) 高城啓

## 伊藤ハム米久 HD が東京ビッグサイトで入社式を挙行

伊藤ハム米久ホールディングスは1日、東京都江東区の東京ビッグサイトで316人のグループ新入社員を迎え、入社歓迎式を行った。浦田寛之代表取締役社長の新入社員へ向けたメッセージ(要約)は次の通り。

〔はじめに〕新入社員の皆さん、入社おめでとう。数ある選択肢の中から当社グループを選んでくださったことに感謝申し上げる。新しい生活に期待も不安もあるだろうが、分からないこと、迷うことがあれば、遠慮なく周囲に頼ってほしい。私たちは、皆さんの挑戦を組織として後押しする。

〔伊藤ハム米久ホールディングスグループで働く面白さ〕働くこととは、作業をこなすだけではなく、社会の中で誰かの役に立ち、評価され、感謝される実感を積み上げていくこと。私たちの商品が店頭に並び、食卓に届き、世界の生活者の暮らしや健康を支える。自分の関わった仕事が、目にみえる形で社会に届く、これは食品企業ならではの醍醐味だ。そして、「事業を通じて、健やかで豊かな社会の実現に貢献します」という当社グループの経営理念を日々思考や行動に落とし込むことで仕事が「作業」から「創造」へ変わる。

〔新入社員の1年への期待〕皆さんの新しい視点やエネルギーは当社グループにとって大きな力であり、入社直後の気付きを遠慮せず言葉にしてほしいと期待している。この1年で徹底してほしいことは、



「分からないことをそのままにしない」「仕事の意味を理解しないまま、作業にしてしまわない」ということだ。この姿勢は、品質や安全に直結し、信頼を生む基盤になる。

〔少し先を歩く立場からのアドバイス〕周りへの感謝と謙虚さを忘れないでほしい。働くということは、周りから評価され、感謝されることだが、最初から何でもできる人はいない。また、何年経っても、どんなに経験を積んでも、完璧な人は1人もいない。いつまでも謙虚さを持って吸収し、素直に学ぶ姿勢が成長につながる。また、今感じている期待や希望、「頑張るぞ」という思いを、ぜひ覚えていてほしい。それは皆さん自身の“原点”であり、その原点が大変な日やうまくいかない日に自分を支えてくれる。皆さんと共に、健やかで豊かな社会をつくらせていけることを楽しみにしている。

## 米久、「味付け牛肉」シリーズ 2 種類を発売

米久(株)は1日、牛肉を使用した調味食肉商品「焼肉牛カルビ」「薄切り牛すき」(各税込み600円、内容量160g)を「味付け牛肉」シリーズとして全国発売した。

特長は、チルド品のため解凍の手間がなく、同社特製のタレで味付けが完了しているため、手軽に調理が可能な点だ。「焼肉牛カルビ」は、洋なし、りんご、パイナップルの果汁を使用した特製タレ。野菜と一緒に炒める他、丼など幅広いメニューに活用できる。「薄切り牛すき」は、超特選しょうゆと、三温糖を使



用した特製のタレで仕上げた。

## プリマハム入社式、阿部社長「若い感性や新しいアイデアを存分に生かして」

プリマハムは1日、入社式を東京都内で執り行った。阿部邦明社長(写真)は57人の新入社員に向けて、次のとおりメッセージを贈った。

本日、これから一緒に仕事をしていく57名の新しい仲間を迎えることができた。プリマハムグループを代表して、皆さんを心より歓迎する。今、皆さんは緊張しながらも、新しい生活への期待や希望を胸に抱いていること

と思う。ぜひ、今日のその新鮮な気持ちを忘れることなく、これからの仕事に取り組んでほしい。

皆さんが入社し、共に働くことになるプリマハムは食品メーカーだ。自社ブランドの下で商品を開発・製造し、それを実際に召し上がる消費者であるお客さまへお届けしている。自分の仕事の結果が、毎日リアルな形で見え、確かな手ごたえを感じられるところが、この仕事の大きな魅力だ。当社は、「おいしさと感動で、食文化と社会に貢献」することを目指す姿に掲げている。これからも良い商品を創り出し、お客さまに喜びと楽しさを提供し続けるために、私たちは挑戦を続けていく。ぜひ、皆さんの若い感性や新しいアイデアを存分に生かし、会社がさらに飛躍できるよう、一緒に頑張っていこう。ここで皆さんに3つのお願いがある。

一つは、プロ意識を持つこと。どのような仕事を担当するにしても、会社やチームの仲間に対して「自分がどのような貢献ができるか」を常に考え、プロ意識を持って取り組んでほしい。仕事は決して楽しいことばかりではなく、時には壁にぶつかることもあるだろう。しかし、くじけず、あきらめずに真摯に向き合うことが、皆さん自身の大きな成長につながるはずだ。



二つ目は、自分の考えを持ちながら、学ぶこと。自分の感性を信じ、自分なりのしっかりとした考えを持つことが重要だ。社内には様々な前例や慣習があるが、「なぜこの仕事をするのか」を常に自分の頭で考えて行動してほしい。あらゆることに関心を持ち、自分で調べ、自分自身の考えを築き上げてほしい。その上で、周りの人とよく話をするので、学び成長し続け

てほしい。初めから何でもできる人は一人もいない。先輩や上司の方から素直に教えてもらい、失敗しながらも経験を積むことで初めてできるようになり、学びに繋がる。

三つ目は、企業ブランドを背負っていることを忘れないこと。学生時代とは違い、社会に出れば、皆さんは会社の一員として世間から見られる。皆さんの発言や行動は、一個人としてだけでなく「プリマハムの社員」としてのものと受け取られる。プリマハムというブランドの看板を背負っているという自覚と責任を持ち、日々の行動に気を配っていただきたい。また、私たちの仕事は「お客さまに、おいしく喜んでもらえる商品を、品質も間違いのない形で確実にお届けする」こと。食品メーカーとして、品質がよく、安心して食べてもらえる商品であることが何より大事であり、何があっても安全・安心を守るのが、企業ブランドを背負うプロとしての責任であることを、忘れないようにしてほしい。

プリマハムは今年で創業95年を迎え、5年後にはいよいよ100周年の節目を迎える。これからも持続可能な成長を果たし、次の100年へと繋いでいけるよう、共に頑張っていこう。

## 米国で鳥フル、家禽肉等の輸入一時停止

農水省動物検疫所はこのほど、米国の家禽飼養施設で高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されたことから、次の地域から輸出される生きた家禽、家禽肉等については輸入を一時停止したと発表した。

デラウェア州サセックス郡(輸入停止措置日=3月3日)▷コロラド州モーガン郡(2025年12月3日)、ラリーマー郡(26年1月2日)、ローガン郡(1月7日)、ボルダー郡(1月28日)、ウェルド郡(1月27日)

## 丸大食品が100人の新入社員を迎え入社式を挙

丸大食品は1日、大阪府高槻市の太陽ファルマテックホールで入社式を執り行った。佐藤勇社長(写真)の祝辞の内容は次の通り。

新入社員の皆さん、入社おめでとう。本日、皆さんを丸大食品グループの一員としてお迎えできることを、大変うれしく思う。丸大食品グループを代表して、心より歓迎の意を表するとともに、お祝いを申し上げます。

企業を取り巻く環境は大きく変化を続けている。国内では、少子高齢化や人口減少といった課題に直面している。働き手の不足が、あらゆる業界に影響を及ぼしており、食品業界も例外ではない。当社もこうした変化に対応し、未来を見据えながら、AIやロボティクスなど新しい技術を積極的に取り入れている。

環境が大きく変化する中で、持続的な成長を実現するためには、社会からその存在価値を認められる企業として、進化し続けることが求められる。ここでいう「社会的存在価値」とは、おいしさを追求することにとどまらず、利便性の向上や環境への配慮など、多角的な視点から、丸大食品グループが社会に提供できる価値全体を指す。お客さまのニーズを敏感に捉え、それに対してスピード感を持って的確に答えていくことで、丸大食品グループへの信頼はさらに強固なものとなり、今後もお客さまに選ばれる存在であり続けることができる。

その歩みを進める中で、われわれが進むべき道を示す羅針盤となっているのが、社是である「至誠通天」だ。この言葉には、日々誠意を尽くして業務に当たれば、やがてその誠意は必ず相手に通じる、という意味が込められている。創業以来、この揺るぎない理念は、丸大食品グループの従業員によって一貫して



受け継がれてきた。そしてそれは、単に真摯な言葉や態度を示すことにとどまらない。仕事の中で、相手の期待や思いを深く考え、それを満たすために努力し続ける姿勢もまた、その中に含まれている。自分自身の役割を理解した上で、より良い方法を模索し、その実現に向けて粘り強く取り組むことこそが、本当の意味での誠意であると、私は考えている。

本日から、この丸大食品グループで社会人としての第一歩を踏み出す皆さんに、ぜひ実践していただきたいことがある。それは「積極性を発揮する」ということ。職場では、これから多くの疑問や戸惑いに直面することと思う。そのような状況こそ、皆さんが大きく成長するための大切な出発点だ。疑問に思うことがあれば、遠慮せずに先輩方に尋ねてほしい。そして、学んだことをすぐに実践し、新たな気づきを得てほしい。その気づきをさらに価値あるものにするためには、皆さん自身が積極的に課題を見出し、挑戦していく姿勢が欠かせない。こうした積極的な行動は、皆さん自身の成長につながるだけでなく、職場のコミュニケーションを円滑にし、働きやすい環境づくりにもつながる。

丸大食品グループには、挑戦する人を支える企業文化と制度がある。皆さんが新しい視点で課題を見つけ、一歩前に踏み出そうとするとき、支えてくれる仲間が必ずいる。失敗を恐れず、思い切って挑戦してほしい。

本日入社された100人の皆さんが、互いに助け合<sup>せつぎたくま</sup>い、切磋琢磨しながら成長していく姿は、会社の未来を切り開く大きな原動力となる。これからの皆さんの成長を、大いに期待している。

## スターゼンG入社式、横田社長「チームで動き成果を上げていく集団に」

スターゼングループは1日、総勢79人の新入社員を迎え、ザ・プリンスパークタワー東京での会場、さらにウェブ配信によるオンライン参加とのハイブリッ

ド形式で入社式を開催した。横田和彦社長(右頁写真)のあいさつ要旨は次のとおり。

本日スターゼングループに入社される新入社員の

皆さん、入社おめでとう。社会人としての門出を迎えられた皆さんに、グループを代表して、心よりお祝いを申し上げます。私たちの業界は人びとの毎日の食を支える「生活の基盤」を担っている。国際情勢を中心に社会の変化が加速する中、食への価値観も多様化し、安全性・環境配慮・持続可能性など社会から求められる責任と期待はますます大きくなっている。

スターゼングループは、この変化への対応と企業としてさらなる成長をしていくため、2026年度から30年度までの5カ年を対象期間とする「中期経営計画2030」を策定し、今期がその初年度となっている。

当社の強みは、食肉のトータルサプライチェーンを通して、付加価値の高い商品・サービスを提供できること。この強みをもって世界中のお客さまのニーズを捉え、応えることのできるサプライチェーンを構築しており、中期経営計画2030のテーマは「強みのさらなる進化とグローバル市場への挑戦」とした。

この5カ年で、スターゼンは、国内外での積極的な投資を計画している。皆さんが、それぞれの部門、職場で経験を積み、将来活躍をする場は、国内はもちろんのこと、海外にも広がってくるということをどうか覚えておいてほしい。

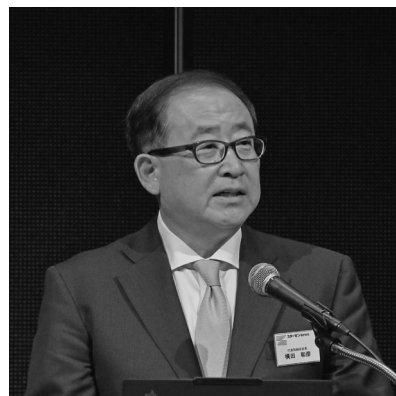
さて、当社は、24年の4月1日に新しい経営理念と、この経営理念を実現するためのブランド・ビジョンを策定した。われわれが目指すのは、単に食を提供する企業ではなく、食を通じて感動や喜びを届ける存在になること。この経営理念を自分事として捉え、行動していくための活動を、現在グループの各職場で取り組んでもらっているので、皆さんもこれから積極的に参画してほしい。

ここで、社会人として新たな一步を踏み出す皆さんに、私から伝えておきたい大切なことがある。「会社でチームワーク良く仕事をするために必要な基本動

作を、しっかり身に付けてほしい」ということ。これは、これから新入社員研修で学んでもらう、「あいさつやマナー、身だしなみ」といった、いわゆるビジネスマナーの基本だけではない。円滑なコミュニケーションを図るために必要不可欠な、適切なタイミングでの「報告・連絡・相談」、ハウレンソウとしてきいたことがあるかと思うが、これがビジネスの基本動作として、とても重要だということだ。

スターゼングループの仕事は、農場や工場、営業だけでなく、物流に品質保証、本社本部の管理部門に至るまで、全ての職場がチームで仕事を進めている。個々の能力を高めてもらうため、日々努力と研さんを重ねてもらうことは大切だが、最終的に求められるのは、皆が同じ目標に向かい、チームで動き成果を上げていく集団がスターゼングループであるということになる。例えば、メジャーリーグで活躍する大谷翔平選手や山本由伸選手は、個人成績も含めて素晴らしいプレーヤーであり、日々の努力も相当なものであろうと感服するばかりだが、彼らの基本動作は、全て「ドジャースというチームの勝利」にあるということと同じだ。

今日社会人として新たな一步を踏み出したが、ここまでの道のりは決して皆さん自身の力だけで乗り越えてきた訳ではないはずだ。今まで育ててもらったご両親やお世話になったすべての方々の支援があつてこそ、今の自分がいるということを忘れずにいてほしい。本年度入社の方々の活躍に期待している。



## 【人事異動】オサベフーズ（4月1日付）

スターゼンは1日付で、(株)オサベフーズを子会社化した。これに伴い、下記の通り人事異動を発表した。

オサベフーズ出向代表取締役社長（営業本部PC統括部PC業務部長）伊藤伸高▷オサベフーズ出向取締役生産本部長（製造本部工場統括部長）柳澤浩之▷執行役員製造本部長兼工場統括部長兼オサ

ベフーズ取締役〈非常勤〉（執行役員営業本部副本部長兼FS統括部長）奥平裕▷執行役員財務経理本部長兼オサベフーズ取締役〈非常勤〉（執行役員財務経理本部長）森上倫輔▷財務経理本部経理部副部長兼オサベフーズ監査役〈非常勤〉（財務経理本部経理部副部長）山崎俊太郎

# 東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 4月1日  
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	3,408	2,597	2,378	-	-
		安値	2,564	2,427	2,052	-	-
		平均	2,773	2,517	2,290	-	-
	70頭	頭数	56	11	3	-	-
	雌 B	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	-	-
	-頭	頭数	-	-	-	-	-
	去 A	高値	3,246	2,775	2,438	-	-
		安値	2,316	2,417	2,363	-	-
		平均	2,712	2,517	2,401	-	-
	206頭	頭数	166	31	9	-	-
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	2,159	-	-	-	
1頭	頭数	-	1	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	平均	-	1,720	1,696	1,650	-
		12頭	頭数	-	5	5	2
	雌 C	平均	-	1,601	-	-	-
	1頭	頭数	-	1	-	-	-
	去 B	平均	-	1,765	1,706	1,589	-
19頭		頭数	-	4	7	8	-
去 C	平均	-	-	-	-	-	
-頭	頭数	-	-	-	-	-	

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜	404	771	-	(競り)	(相対)	
売買	401	799	194.5	-	15	77

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,689	1,817	1,767	1,684	-
	B	-	-	-	1,691	-
和 去	A	2,612	2,500	2,403	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	1,116	-
	C	-	-	-	1,110	1,054
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	1,157
交 雌	B	1,756	1,734	1,707	1,601	-
	C	-	-	-	-	-
交 去	B	1,835	1,765	1,714	1,663	-
	C	-	-	-	1,628	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	890	920	801	735	691
	安値	745	691	665	443	108
	平均	815	742	700	664	490
	頭数	( 6)	( 265)	( 254)	( 155)	( 119)
搬入競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
搬入相対	高値	-	-	-	-	510
安値	-	-	-	-	-	510
平均	-	-	-	-	-	510
頭数	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)	( 15)

[大阪食肉卸売市場] 4月1日  
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [ ] は豚規格

	5 [極上]	4 [上]	3 [中]	2 [並]	1 [等外]
和 雌 A	2,570	2,395	-	-	-
(頭数)	( 1)	( 3)	( -)	( -)	( -)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	( -)	( -)	( 1)	( -)	( -)
和 去 A	2,761	2,484	-	-	-
(頭数)	( 3)	( 3)	( -)	( -)	( -)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,792	-	-	-
C	-	-	-	-	-
交雑去 B	-	-	1,756	-	-
C	-	-	-	-	-
豚	-	675	660	567	478

[全国と畜概算頭数]  
農水省統計部発表 (頭)

	4月1日	3月31日	(4月累計)
豚	63,400	62,900	63,400
成牛計	4,310	3,760	4,310
和牛雌	1,080	750	1,080
和牛去勢	1,240	1,220	1,240
乳牛雌	490	790	490
乳牛去勢	410	400	410
交雑雌	630	290	630
交雑去	460	300	460

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 4月1日

	東京	大阪
1,676円(前日 1,691円)	1,690円(前日 1,789円)	

[豚・全農建値] 4月1日

上	中	取引頭数	市況
687円	742円	1,210頭	続伸

と畜	牛 78頭	豚 87頭	牛概況	もちあい
売買	牛 20頭	豚 79頭	豚概況	まちまち

# 各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 4月1日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	670 ( 670 )	- ( - )	5,790	-	もちあい
仙台 [中]	715 ( 679 )	674 ( 650 )	456	48	続伸
宇都宮 [地]	742 ( - )	715 ( - )	1,454	73	急伸
茨城 [地]	725 ( 722 )	700 ( 693 )	1,255	691	小幅続伸
群馬 [地]	740 ( 751 )	657 ( 652 )	1,890	364	反落
さいたま [中]	753 ( 751 )	734 ( 744 )	98	101	もちあい
東京 [中]	742 ( 740 )	700 ( 715 )	771	799	もちあい
横浜 [中]	732 ( 719 )	700 ( 694 )	645	654	続伸
山梨 [地]	708 ( 721 )	668 ( 700 )	170	159	まちまち
浜松 [地]	- ( - )	- ( - )	-	-	競り休止
名古屋 [中]	714 ( 702 )	680 ( 669 )	791	133	上伸
京都 [中]	- ( 727 )	- ( 724 )	-	-	休市
大阪 [中]	675 ( - )	660 ( - )	87	68	まちまち
神戸 [中]	- ( 731 )	- ( 728 )	125	-	-
岡山 [地]	684 ( 683 )	685 ( 675 )	256	345	もちあい
広島 [中]	712 ( 699 )	688 ( 666 )	289	90	続伸
福岡 [中]	682 ( 670 )	641 ( 630 )	437	184	反発

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 3月25日～3月31日  
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,883,448 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,175	1,201	1,237	1,205	84,443
うで	756	810	906	820	128,347
ロース	1,026	1,182	1,250	1,162	165,482
ばら	1,212	1,248	1,318	1,256	167,486
もも	797	829	856	826	181,608
ヒレ	1,134	1,134	1,323	1,175	15,117
セット	1,009	1,064	1,075	1,056	1,140,965

◇近畿圏 総重量 692,155 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,218	1,360	1,381	1,342	51,035
うで	743	757	810	764	119,154
ロース	1,133	1,234	1,257	1,226	90,257
ばら	1,259	1,313	1,351	1,310	130,606
もも	753	761	826	779	148,147
ヒレ	1,157	1,214	1,382	1,247	11,194
セット	1,008	1,050	1,177	1,066	141,762

[食鳥正肉日経相場] 3月31日  
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (7社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	784	838	1,006	169
ムネ	447	501	652	163

◇大阪 (3社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	745	841	1,050	2
ムネ	450	518	610	2

[農水省統計情報部食鳥市況] 3月31日  
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽ト	手羽キ	ササミ
高値					
安値					
平均					

31日分は3日掲載

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日期間中（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

# 食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

### ■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

### ■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

### ◆食肉販売&経営関連

## 銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

## 銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

### ◆イベント

#### ■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



## 食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで  
お近くの食肉通信社まで

# 株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48  
■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10  
■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510  
TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928  
TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

## 週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

## 日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

## 月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

### ◆教材&レポート等

#### ■あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男 鏡 晃 著 A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

#### ■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。 B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

#### ■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。 B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

#### ■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

### ◆ステーションリー

## 食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します